



令和4年11月号 発行 2022.11.1  
 千葉県立柏中央高校図書委員会  
 担当 1H 小坂 補佐 1D 山中

やっと中間テストが終わりましたね。結果が良かった人も悪かった人もいると思いますが、気持ちを切り替えて次に向かって頑張りましょう！

さて、最近一気に寒くなってきましたね。登校時凍えて震えながら来てる人も少なくないと思います。半袖の人もいますが…。そんな寒い日の休み時間や放課後は図書館で過ごしてみませんか？いつでも暖かくたくさんの本が迎えてくれる at home な場所ですよ！Welcome to library！



2022 第76回 読書週間 10月27日～11月9日

## 「この一冊に、ありがとう」



秋といえば読書の秋、読書週間が今年も始まりました。今年の標語いかがですか？みなさんは「ありがとう」って言えるくらい影響を受けた本に出合ったことはありますか？「まだない！」っていう人、多感な高校生の時にぜひ人生の一冊を見つけてください。素敵な本はあなたの一生のともだちですよ。

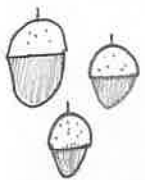
## 新しい本が入りました

- 『祈りのカルテ』知念実希人著 『あくてえ』山下絃加著 『僕とアリスの夏物語』谷口忠大著
  - 『すずめの戸締り』新海誠著 『SDGsは地理で学べ』宇野仙著 『あの子とQ』万城目学著
  - 『もやしものの菌類辞典』岩田健太郎著 『「死んだふり」して生きのびる』宮竹貴久著
  - 『気象病ハンドブック』久手堅司著 『31cm』NPO法人JHD&C監修 『脱・呪縛』鎌田實著
  - 『聞く技術聞いてもらう技術』東畑開人著 『犬も食わねどチャーリーは笑う』市井点線著
  - 『女の子がいる場所は』やまじえびね著 『さばの缶づめ、宇宙へいく』小坂康之・林公代著
  - 『同性同名』下村敦史著 『方舟』夕木春央著 『あ』教科書が教えない日本語』山口謠司著
  - 『夕風の街 桜の国』こうの史代著（2年生は映画で見た原作）『弥栄の鳥』阿部智里著
- このほかにもたくさんありますよ！

### 今月のおすすめ本 「わたしの美しい庭」 岡良 ゆう著



ひと言メッセージ：故あって血縁のない義父と暮らす少女百音。マンションの屋上には素敵な庭となぜか神社。素敵な隣人たちとの生活でたくさんのことを学んでいく彼女に「人生の中でおっきな幸せってなかなかないけど、宝くじを買って夢を見るていうような、ちっさな幸せの時間を積み重ねていけば生きていけるよ。」と語る隣人。秋の夜長にぜひご一読を。感動作ですよ！



今月も図書委員のおすすめ本を紹介します。図書館にありますのでご一読ください。

『15歳のテロリスト』 松村 涼哉 著

本を選ぶときに見出しの部分で主人公が「すべて、吹き飛ばしてしまえ」といっていた所が気になったので読んでみました。なぜ少年がテロリストになったのか、読んでいくうちに明かされていく話です。少年が起こしたテロを通して少年犯罪について知っていくことができます。少年犯罪における「被疑者」「被害者」の立場、様々な所から焦点を当てて、文章が描かれているので、何が良く何が悪いのか、読んでいてすごく考えさせられる本でした。

樋口一葉

『デュララ！！』 成田 良悟 著

出てくるキャラクターの性格が濃いところがおすすめポイントです。群像劇になっていて特定の主人公はいません。しかし、それぞれのキャラクターの個性が潰されることなく群像劇として成り立っています。上手に群像劇がつくられているので、群像劇の良さを最大限引き出せているところが特徴です。無色のカラーギャング「ダラズ」や黄色いバンダナをする「黄巾族」、人を愛するために人を切る妖刀の「罪歌」など人間だけでなく組織の特徴も濃いので、面白いです。基本的に何でもありなのがデュララ！！の最大のポイントです。

くさだはるひし。

『秘島図鑑』 清水 浩史 著

島のガイドブックと言えば人が暮らしている街並みや、透き通った綺麗な海や豊かな自然を紹介していますが、秘島図鑑は日本史中の無人島を紹介しています。元々住めず無人のままの島や、人は住んでいたが、自然現象や、戦争などにより住めなくなった島、宮司が十日間交代制で入り、一般人は入れない神聖な島などいろいろな秘島が紹介されています。普通の島のガイドブックを見飽きた人はぜひ読んでみてください！

Hさん

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』 汐見 夏衛 著

この本の主人公、茜は皆から信頼される優等生なのですが隣の席の男子の青磁にだけは「嫌いだ」と言われてしまいます。茜と青磁はそれぞれ秘密を抱えていて、この秘密とタイトルの意味を知るととても感動する本です。景色や心情の表し方がすごくきれいなので気になった人はぜひ読んでみてください。

野口英世

『クドリヤフカの順番』 米澤 穂信 著

この本は主人公の高校生が文化祭で起きた連続盗難事件を解決していくという内容になっています。舞台が高校の文化祭ということもあり僕たちにとってイメージしやすく、とても読みやすい本だと思います。ぜひこの本で起きたような事件が起きないかなど自分たちの文化祭とも照らし合わせて読んでみてください。

Fuji



『宝石商リチャード氏の謎鑑定』 辻村 七子

イギリスから来た美しい宝石商リチャードの強い正義感が依頼人と美しい宝石との謎を紐解くミステリー小説です。辻村先生の丁寧で細やかな描写で美しい宝石と依頼人も心情が表されています。有名な宝石から無名な宝石まで一話に一つでできます。宝石が好きな人も、ミステリーが好きな人にもおススメです。

S.S

● ● ● 皆さんもお気に入りの一冊を見つけにぜひ図書館をご利用ください。 ● ● ●